



カメの見分け方

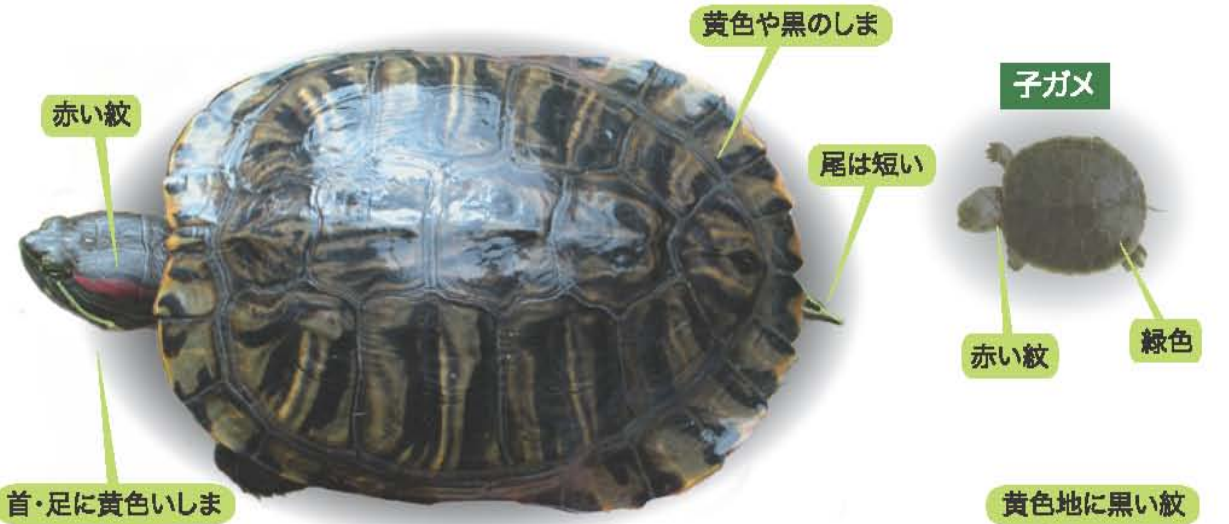
外来種

認定NPO法人 生態工房
三井物産環境基金の支援により製作しました。

ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)

要注意外来生物

都市部を中心に、池、濠、流れの緩やかな川などで普通に見られる。甲羅は最大で28cm。春から秋に、岸や倒木などでよく甲羅干しをする。夏には水上に目鼻だけ出して浮いている。



これもミシシippアカミミガメ

歳をとると黒っぽい色になる
写真提供:小林頼太



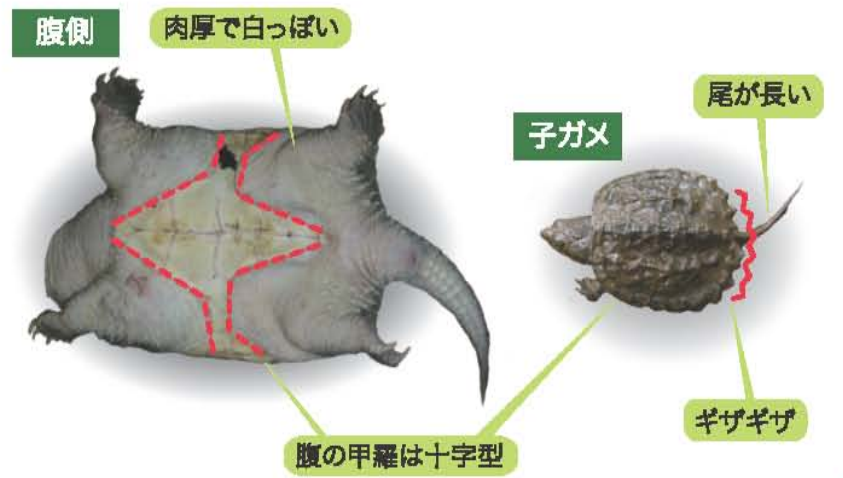
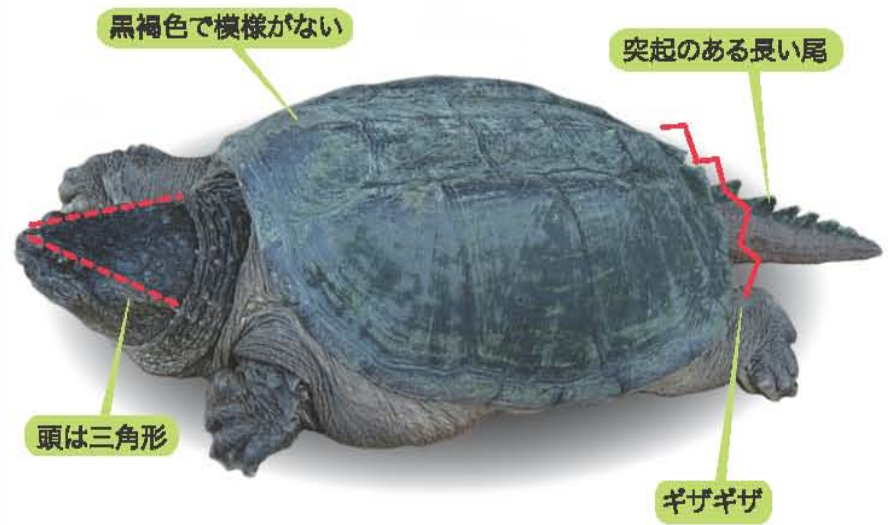
背面が黒くなっても、腹側は黄色い

メスは甲羅全体が黒くなる

カミツキガメ

特定外来生物

都市部などで見つかることがある。複数が見つかることは稀。甲羅は最大で49cm。夜行性で、通常は水中にいる。





カメの見分け方

在来種

そっとしておいてください。

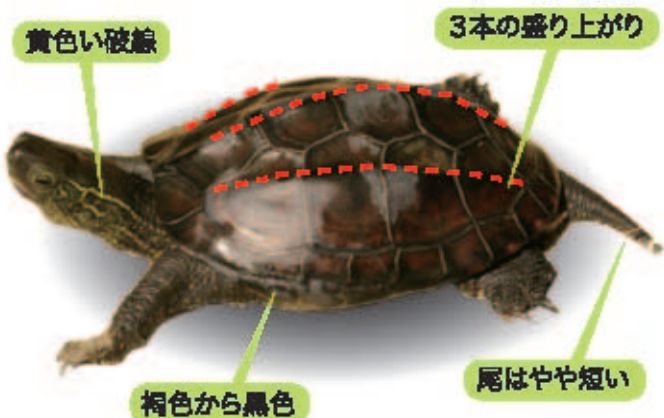
大きさの測り方

甲羅の中央をまっすぐ計る



クサガメ

池や川で普通に見られる。甲羅は最大で25cm。
最近の研究では、外来種の可能性があると考えられている。



これもクサガメ

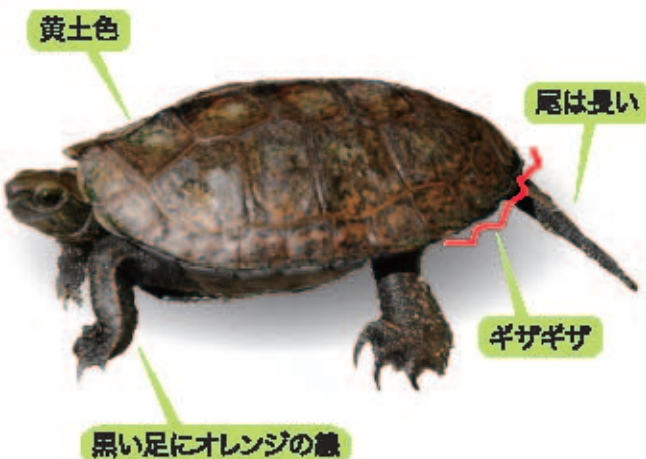


オスは歳をとると黒くなる。
甲羅の3本の盛り上がりは変わらない。



ニホンイシガメ

環境省レッドリスト掲載種
池や川で見られる。甲羅は最大で20cm。



子ガメ



ニホンスッポン

環境省レッドリスト掲載種
池や川で見られる。甲羅は最大で30cm。



灰色、褐色、黒色
など変化が多い

子ガメ

